

科目区分	専門基礎分野	科目名	形態と機能 I (脳神経、運動器)	対象学生	第1学年
		単位数 (時間数)	1単位 (30H)	学 期	第1学期
担当講師	医師				
科目目標	1. 脳・神経の構造と機能を理解する。 2. 運動器の構造と機能を理解する。				
授業概要					
第1～7回 第8章	神経系の構造と機能:15H 担当：医師 (講義) (神経細胞と情報伝達、神経膠細胞、体性神経、自律神経 他) 脊髄と脳 1) 脊髄の構造と機能 (脊髄反射) 2) 脳の構造と機能 (脳幹、小脳、間脳 (視床・視床下部)、大脳、脳室と髄膜、 脳脊髄液の循環 他) 脊髄神経と脳神経 1) 脊髄神経の構造と機能 (脊髄神経と神経叢) 2) 脳神経の構造と機能 (脳神経のおもな支配域) 脳の高次機能 (覚醒と睡眠) 1) 脳波と睡眠 (体内時計) 運動機能と下行伝導路 感覚機能と上行伝導路 (体性感覚、深部感覚)				
第8～14回 第7・11章	骨の機能:15H 担当：医師 (講義) 1) 骨の形態と構造 2) 骨の組織と組成 関節の機能 1) 関節の一般構造 2) 関節の形状と可動性 骨格筋の構造と作用 1) 体幹の骨格と筋 (脊柱、胸郭、胸部・腹部の筋、殿部の筋・骨盤底筋 他) 2) 上肢の骨格と筋 3) 下肢の骨格と筋 4) 頭頸部の骨格と筋 5) 筋の収縮と特性 全身の骨格の形態と構造 (骨モデルを使った演習)				
第15回	まとめ・終了試験				
看護師国家試験出題基準					
神経細胞と神経組織、中枢神経系の構造と機能 (大脳、視床、視床下部、中脳、橋、延髄、小脳、脊髄、姿勢反射、髄膜と脳室 脳脊髄液の循環、感覚と運動の伝導路、覚醒と睡眠)、末梢神経系の構造と働き (脳神経、脊髄神経、体性神経、自律神経) 骨格の構造と機能 (骨、軟骨)、関節の構造と種類、骨格筋の構造と機能 (骨格筋、筋収縮の機構、全身の筋の種類)					
授業の進め方					
模型や視聴覚教材を使用して各称や働きを確認する。					
履修のポイント・留意事項					
テキスト					
系統看護学講座 解剖生理学 医学書院 目でみるからだのメカニズム 医学書院 系統看護学講座 準拠 解剖生理学ワークブック 医学書院					
評価方法・配点					
授業への取り組み状況、終了試験にて総合的に評価する。					